



2019年「浦和一女麗風会の森」 植物観察会 報告



日時：2019年5月12日(日) 午前10時～午後2時(現地)

場所：寄居町風布「浦和一女麗風会の森」

参加者：46名(麗風会20名、PTA・後援会20名、先生3名、生徒2名、他1名)

私たちPTAは、麗風会(浦和一女同窓会)の方々と木漏れ日がやさしい「浦和一女麗風会の森」へ植物観察会に行ってきました。例年は7月に下草を刈る活動をしていましたが、酷暑の中での活動を避けるため、今年は5月開催になりました。



ジュウニヒトエ



ササバギンラン

4年前、熊谷西高校の三上忠仁先生によって、この森に自生する植物の調査が行われ、227種類の植物がリスト化されました。その中には準絶滅危惧種も8種類含まれています。私たちは3班に分かれ、そのリストを手にもこらしながら植物を探し、花を見つけるたびに、グループリーダーに花の名前を教えてください、写真に収めました。途中、生物部OGの方が、リストにはない「ジュウニヒトエ」を見つけたり、準絶滅危惧種である「ササバギンラン」の群生を見つけたり…と森の成長を

喜びながら観察しました。初めは気が付かず素通りしてしまった場所でも、目がだんだん慣れてくると、小さな花も見つけられるようになります。昼食後は麗風会の森から全平道路を下って、風布館までの下山ハイキングを楽しみました。陽当たりが良い全平道路わきには、麗風会の森では見かけなかった花々がたくさん咲いていました。



12年目に入った麗風会の森活動。下草を刈り、コツコツと整備してきたことにより、自生植物がこのように増えてきました。これまで、貴重な植物が大雨で土ごと流されてしまったり、流れついた場所でまた、可憐な花を咲かせたりすることもあるそうです。

厳しい自然にしなやかに対応する植物の生命力を感じ、林内整備の大切さを知りました。

次回は、11月17日(日)に、隣接する浦和高校の「浦高百年の森」の活動と合同開催で林内整備活動を行います。

森の成長を助ける活動を通して、一緒に森の息吹を感じてみませんか。(文責 本部)

